

と稱し兎角聲のみ大きく實質の伴はないものがでもないがこのゾーンの幼児保護收容所などは名實共に世界有數なものであると思はれます。幼兒を充分に保護することは我が國には社會事業としても教育事業としても非常に緊要なる事實でありますことは私が申すまでもないことであります。

こわれた飛行機

椎 名 静 枝

デルモンテの空箱に坊やの玩具は一つばいに入つてゐる。而し一つとして完全な(大人から見ても)ものはない。

けれども坊やは、輪のとれた自動車、煙突の無い汽關車をたゞみのへりにはしらせては、あんなに喜んでゐる。

なんであつたか身元の解らない程こわれた板きれ一枚でも、大切に――面白く遊んでゐる。

あるかなくなつた象君、びつこになつた熊さん、頭の凹んだキユーピーさん、ほんとに仲よくこわれたおもやさんとよく遊ぶ。

坊やの玩具のこわれてゐない間は、坊やのお手々にまだわたつてゐない間だけ、數分間もすれば皆其個性を坊やに奪はれて、完な坊やのお友達になつてしまふ。

ゼンマイ式の飛行機……それは坊やの持つてゐる玩具中たつた一つの彼の個性のまだ奪はれてない、どこも怪我してゐない完全な玩具だつた。それを出すたびに喜んだ。とても喜んだ。

永生きをしてゐる飛行機、それは坊やに自由にさわらせなかつたからだつた。

ある時どうした調子か、飛行機の回轉してゐる針がとう／＼折れてしまつた。ついに飛行機もこわれた。私はがっかりしてそのままほり出した。其時坊やは急ぎとりあげて、さも親しそうに抱くやうにして、

『たゞさん……もう坊やのおもちゃにしてもいいの……』

私はびつくりした。そしてほんとに赤くなつてしまつた。

それから、手のとどかない所へ飾つてあつた、フランス人形もガラス戸の中にあつたクレール人形も、坊やのおもちゃ箱の中に雑居した。

(昭和三、三、二〇)